| | ピット・基礎梁礎板伏図 | A1：1／200<br>A3：1／400 |
|---|---|---|

注）特記なき限り、下記による。

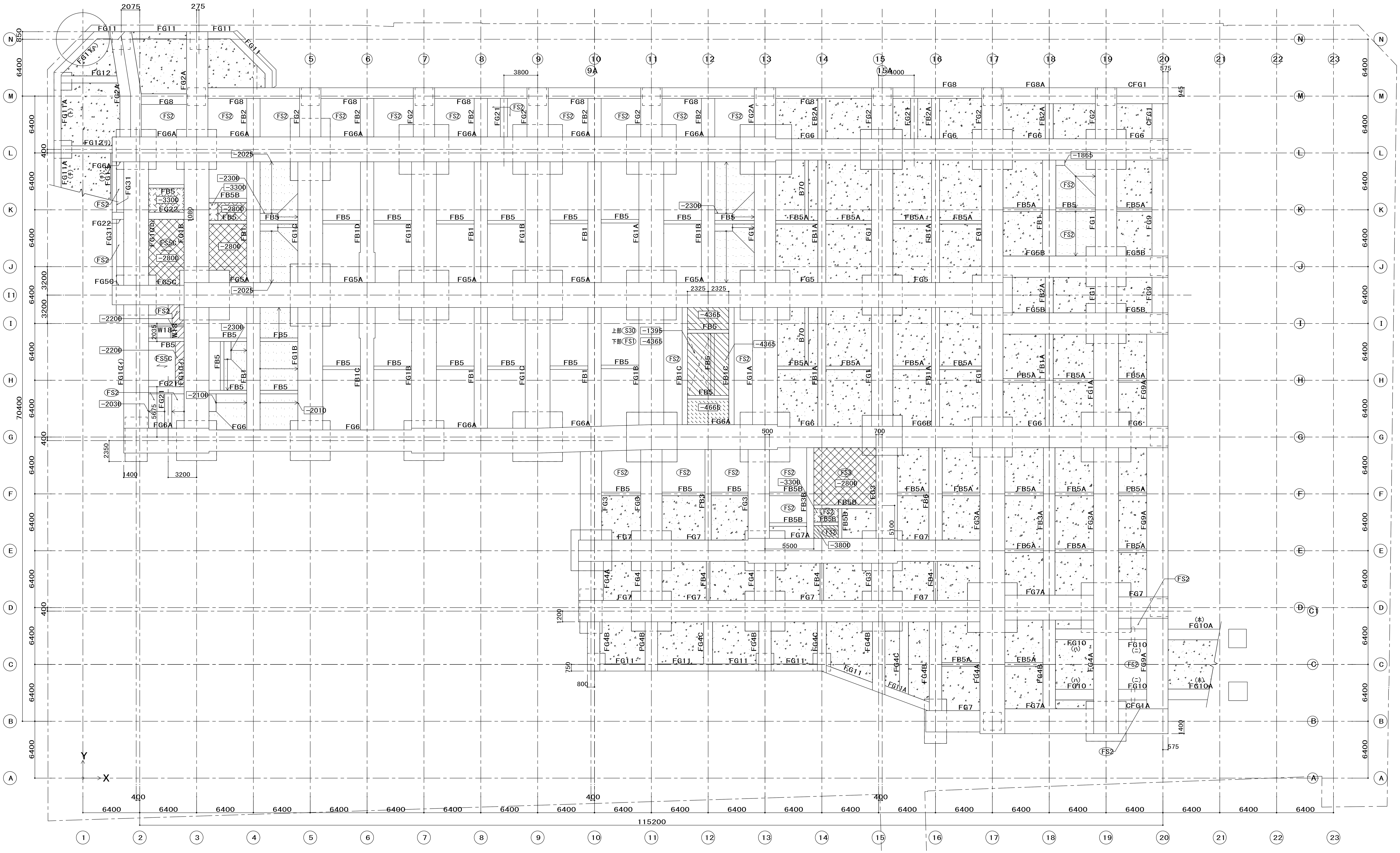
1. 床スラブ天端レベルは 下記による。
□内の数値は、FLからの床スラブ天端レベルを示す。

| 凡 例 | 床スラブ天端レベル | 凡 例 | 床スラブ天端レベル |
|---|---|---|---|
| 無印 | B1FL−1865 | (hatch) | B1FL−4365 |
| (hatch) | B1FL−2200 | (hatch) | B1FL−3300 |
| (hatch) | B1FL−4665 | (hatch) | B1FL−2800 |
| (dots) | 勾配 | | |

2. 基礎梁天端レベルは 下記による。
鉄骨小梁は、原則としてスラブ下端に合わせる。

| 符号 | 基礎梁天端レベル | 符号 | 基礎梁天端レベル | 符号 | 基礎梁天端レベル |
|---|---|---|---|---|---|
| 特記なし | B1FL−265 | (ニ) | B1FL+1005~+1905 | (チ) | B1FL+1385~+2485 |
| (イ) | B1FL−1865~−265 | (ホ) | B1FL+1905~+3095 | (リ) | B1FL+1135 |
| (ロ) | B1FL−2800~−265 | (ヘ) | B1FL−265~+35 | | |
| (ハ) | B1FL+85~+1005 | (ト) | B1FL+35~+1385 | | |

3. 床スラブの符号は (FS1) とする。
4. 2重ピットに面する基礎小梁の下端レベルは、礎版下端レベルに合わせる。
その他の基礎小梁の天端レベルは、床スラブ天端レベルに合わせる。
5. ↕印は 床スラブの主力筋方向を示す。
6. ⊂⊃印は 溶接継手(CB工法)採用範囲を示す。




| 着工 | 平成 28年 6 25 | | |
|---|---|---|---|
| 竣工 | 令和 元年 11 30 | | |
| 監理 | | | 監理 日建・上田特定監理業務等共同企業体 |
| 施工 | | | 施工 大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体 |

| 凡例 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート壁 | コンクリート壁開口 | 床開口部 | 階 段 | 下部2重スラブ | スラブリブ |
| 基準FLよりの上り下り | 土間コンクリート | 捨てコンクリート | 鉄骨階段 | 床水勾配（水下 → 水上） | 埋戻し |

完成図 構-27

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課

| 担当 | 担当 | 係長 | 課長補佐 | 副参事 | 課長 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

高知市新庁舎建設工事

ピット・基礎梁礎版伏図

構 27
4 − 3

NO. 0−140004−B